

\*今週の総合ベスト10\*

1	文藝春秋	透明な螺旋	東野圭吾	¥1,815	NEW
2	小学館	九十八歳。戦やまず日は暮れず	佐藤愛子	¥1,320	↑
3	小学館	教場 刑事指導官・風間公親	長岡弘樹	¥1,650	↑
4	KADOKAWA	聖域	ユムトトヤ	¥1,430	NEW
5	飛鳥新社	変な家	雨穴	¥1,400	↓
6	昭文社	山形のトピッ		¥1,980	↓
7	講談社	貝く線場にて	石沢麻衣	¥1,540	↑
8	幻冬舎	もうまされな 新型コロナの大誤解	西村秀一	¥1,430	NEW
9	ポプラ社	あなにあな	ヨシタケシカ	¥1,320	↑
10	中央公論社	老の福袋	樋口恵子	¥1,540	↑

8/30~9/5

今週のPICK UP

ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー 2



編著: プレイディみかこ 税込価格: ¥1,430(本体: ¥1,300)  
出版社: 新潮社 サイズ: 19cm/208p  
発行年月: 2021.9 ISBN: 978-4-10-352682-7  
■内容■13歳になった「ぼく」に親離れの季節が…「一生モノの課題図書」、完結。中学生の「ぼく」の日常は、今も世界の縮図のよう。授業でのスタートアップ実習、ノンバイナリーの教員たち、音楽部でのポリコレ騒動、ずっと助け合ってきた隣人との別れ、そして母の国での祖父母との旅。「事件」続きの暮らしの中で、少年は大人への螺旋階段を昇っていく。80万人が読んだ「親子の成長物語」、ついに完結。

9/12は宇宙の日



宇宙 そのひろがりしろう



著者: 加古 里子 税込価格: ¥1,650(本体: ¥1,500)  
出版社: 福音館書店 サイズ: 32cm/61p  
発行年月: 1978.11 ISBN: 978-4-8340-0736-7  
■内容■【かがくのほん】宇宙はいったいどれほど広く、その果てはどうなっているか？果てのない宇宙空間が、明確な説明で1冊の絵本の中に広がっていく。巨大な宇宙の広がりをテーマに望遠鏡やロケットの歴史、星の進化とその一生、宇宙有限論までを紹介した科学絵本。。

宇宙に行ったらこうだった！



著者: 山崎 直子 税込価格: ¥1,210(本体: ¥1,100)  
出版社: repicbook サイズ: 19cm/159p  
発行年月: 2020.11 ISBN: 978-4-908154-27-0  
■内容■宇宙にいったからこその面白エピソードが満載！どのくらい上に行けば宇宙なの？ロケットの打ち上げはどこで見ることができる？宇宙飛行士・山崎直子が、宇宙食、月や火星、宇宙船や国際宇宙ステーションなど、宇宙のことをわかりやすく紹介する。

宇宙においでよ



著者: 野口 聡一 税込価格: ¥1,540(本体: ¥1,400)  
出版社: 講談社 サイズ: 21cm/175p  
発行年月: 2008.6 ISBN: 978-4-06-214546-6  
■内容■宇宙ステーションは、地球から見ると宇宙飛行士・野口聡一の宇宙案内記。宇宙ステーション、スペースシャトル、宇宙飛行士の訓練がこの一冊でわかります。イラストいっぱい楽しさ宇宙一。



今週のお薦め  
の新刊



月曜日の抹茶カフェ

著者: 青山 美智子 税込価格: ¥1,500(本体: ¥1,364)  
出版社: 宝島社 サイズ: 19cm/221p  
発行年月: 2021.9 ISBN: 978-4-299-02028-4  
■内容■人は知らず知らずのうちに、誰かの背中を押していることに気づく、一杯の抹茶から始まる、東京と京都をつなぐ12カ月の心癒やされるストーリー。『木曜日にはココアを』のおなじみのメンバーも登場するシリーズ続編。  
■著者■青山美智子)1970年生まれ。愛知県出身。出版社で雑誌編集者等を経て執筆活動に入る。ほかの著書に「猫のお告げは樹の下で」など。



ガラスの海を渡る船

著者: 寺地 はるな 税込価格: ¥1,760(本体: ¥1,600)  
出版社: PHP研究所 サイズ: 19cm/245p  
発行年月: 2021.9 ISBN: 978-4-569-85012-2  
■内容■「みんな」と同じ事ができない兄と、何もかも平均的な妹。2人は祖父の遺言をきっかけに、ともにガラス工房を引き継ぐことになり…。大阪・空堀商店街にあるガラス工房で兄妹が過ごした愛おしい10年間を描く。  
■著者■寺地はるな)1977年生まれ。佐賀県生まれ。「ピオレタ」でポプラ社小説新人賞を受賞しデビュー。ほかの著書に「大人は泣かないと思っていた」「雨夜の星たち」など。



やさしい文字レッスン 「読み」を深める20の方法

著者: 小林 真大 税込価格: ¥2,090(本体: ¥1,900)  
出版社: 雷鳥社 サイズ: 20cm/320p  
発行年月: 2021.9 ISBN: 978-4-8441-3779-5  
■内容■インターナショナルスクールで国際バカロレアの文学教師をつとめる著者が、文学作品をより深く味わうための「読み」の手法を20に分けて分かりやすく解説。あらゆる「読みの可能性」を実感し、文学作品の奥深さに触れる。  
■著者■小林真大)山形県生まれ。早稲田大学国際教養学部卒業。IB JAPANESEオンラインスクール代表。著書に「文学のトリセツ」など。



不思議な山名、個性の山名

著者: 大武 美緒子 税込価格: ¥1,100(本体: ¥1,000)  
出版社: 実業之日本社 サイズ: 18cm/191p  
発行年月: 2021.9 ISBN: 978-4-408-33991-7  
■内容■野口五郎岳、化物山、ギリギリ山…。よく知られる山を例に、どのように名付けられたのかを解説するほか、ぎょっとする山名、思わず吹き出す珍山名など、個性的な山名も紹介する。  
■著者■大武美緒子)1973年生まれ。フリー編集者・ライター。山と溪谷社、産業編集センターをへてフリーランスに。リトルプレス「Letters」編集・発行人。



しれっと逃げ出すための本

著者: ヨシダ ナギ 税込価格: ¥1,430(本体: ¥1,300)  
出版社: PHP研究所 サイズ: 19cm/143p  
発行年月: 2021.9 ISBN: 978-4-569-88016-7  
■内容■「逃げることは自分を守ること、自分の中にある幸せと向き合うこと。集団生活、受験、就活など自分が不向きだと感じた全てのものから逃げてきたフォトグラファーが、嫌なことから「しれっと」逃げ出す方法をゆる〜く伝える。  
■著者■ヨシダナギ)1986年生まれ。フォトグラファー。講談社出版文化賞写真賞を受賞。著書に「DRAG QUEEN」「HEROES」「ヨシダナギの拾われる力」など。



いっぱいさんせい

著者: 宮西 達也 税込価格: ¥1,540(本体: ¥1,400)  
出版社: フレーベル館 サイズ: 27cm/34p  
発行年月: 2021.9 ISBN: 978-4-577-05007-1  
■内容■いいお天気。5ひきの仲良しおおかみが「何しようか？」と相談しています。サイクリング、たこあげ、野原でお昼寝、高いところから景色を眺める…。5ひきは「全部いいね！」と全部やることに…。？  
■著者■宮西達也)静岡県生まれ。「きょうはなんてうんががいいだろう」で講談社出版文化賞・絵本賞、「おまえうまそうだな」でけんぶち絵本の里大賞を受賞。